
1. 合奏 & 歌：「Voare (ボラレ)」 by ジプシーキングス

 対象：全員

 サンプルリンク*：[Volare By Gipsy Kings](#)

*イメージのみです。コンサート用はMusic Bird オリジナルアレンジになります。

「Volare」とは、イタリア語で「飛ぶ、飛べ!」という意味。広がるメロディーが、まさに青い空を飛ぶようなフィーリングを醸し出しています。世界中の多くのアーティストに愛されカバーされてきたその理由は、ノリの良いメロディー・リズムはもちろんの事、歌詞の内容が「Freedom, Dream Love, Peace」など国、世代を超えてシェアできる普遍的なテーマを歌っている、というのも一つの要因ではないでしょうか？


Music Bird では夏らしい、アップテンポで情熱的なフラメンコのリズムを取り入れた Gipsy Kings のアレンジをチョイス。合奏のほか、リピートするコーラスパートをイタリア語で歌っていきます。日本でも 90 年代のアサヒビールのCM、映画『マダガスカル3』の放映をはじめ、メディアでも様々なシーンで使用されてきたため、子どもから大人まで一度は耳にしたことがあると思います。

→さらなる詳細は[こちらからダウンロード](#)。

音楽を深めるポイント

- ヘ長調(調合)や拍子に目をむける
 - ビートをしっかり感じて合わせる
 - リズムと音符の理解
 - 三連符、符点八分音符、タイ
 - 休符に気を付ける
 - 楽譜に書かれた記号の理解
 - 速さ、反復記号 (ダルセーニョ、セーニョ、コーダetc…)
 - フェルマータ、拍子記号、調号、臨時記号、強弱記号音楽用語
 - 外国語(イタリア語)の歌詞に触れる
 - ラテンの雰囲気を感じながら演奏する
-

2. 歌・ダンス：「Down by the Riverside」 by アメリカン スピリチュアル

 対象：全員

 サンプルリンク*：[Down By the Riverside](#)

*イメージのみです。コンサート用はMusic Bird オリジナルアレンジになります。

「武器を手放し、戦いを終わらせ、平和を選ぶ」という強いメッセージが込められているスピリチュアルソング（ゴスペルの原型）。

「川（river）*」はキリスト教において救済のシンボル。この曲の重要なモチーフとなっています。

「戦いをやめる」「武器を置く」というテーマは、どんな国、どんな文化・宗教でも共感できるもの。そのため、キリスト教会の枠を超え、ゴスペルやフォークソングとして、多くのアーティストにカバーされ、今では自由・平和・希望の象徴として、世界中で歌い継がれてきます。このバージョンは、バースごとに変化していく情景・世界観にも注目。

Music Bird では、日本語に訳すのではなく、英語のメッセージが直接イメージできるようダンス・ジェスチャーをつけながら歌っていきましょう。

*スピリチュアルソング、ゴスペルでない場合でも、川、水という言葉がメタファーとして使われる場合、実際の川を指すのではなく、平和や救い、心を清めるといった意味合いで使われていることを覚えておくと良いと思います。

<英語のスタイルについて>

"I ain't gonna study war no more" は、文法的には砕けた英語（口語的なアフリカ系アメリカ人のスピリチュアルソングの言葉遣い）で、テキストブック的な英語に直すと："I'm not going to study war anymore." になります。"study war" は直訳すると「戦争を学ぶ」ですが、ここでは「戦うことをやめる、放棄する」というふうに訳すことができます。"no more" = 「もうこれ以上～しない」という強調表現。"I ain't" = "I am not" の口語的な省略形です（これもアフリカン・アメリカンのスピリチュアルソングなどで使われます）。

→さらなる詳細は[こちらからダウンロード](#)。

音楽を深めるポイント

- Lay down my sword and shield,
Shake Hands around the World,
Clap Hands and sing a Song
- それぞれのverseのイメージを描こう。
- 内容・歴史に触れる
- 転調の調号の変化を学ぶ

3. 歌（カノン）「Fruits Canon」

It's party time! メインイベントはフルーツサラダ! 🍌🍌🍌

グループをキウイ、マンゴー、バナナの3つに分け、ひとつのグループが歌い出したら、次のグループが少し遅れて同じメロディーを追いかけるカノン形式で歌います。自分のパートをしっかりと担当することで、異なるパートが重なり合うハーモニーの楽しさを体験しましょう!

 **対象：全員**

 **サンプルリンク***: [Fruits Canon](#)

*イメージのみです。コンサート用はMusic Bird オリジナルアレンジになります。

音楽を深めるポイント

- 違うパートが重なって作りだす世界観を感じる
 - そのために、自分のパートをしっかりと担当する
 - 複数の違うパートが重なる面白さを感じる
 - 遊びでしっかりと土台を作る
-

4. チャンツ &手遊び「Epoi Tai Tai E」

ニュージーランドのマオリ族やポリネシアの文化で親しまれている楽しい歌のひとつ。ポリネシアの伝統的な歌には、言葉の意味よりも響きやリズムを大切にすることが多く、「Epo i Tai Tai E」もその一つといわれています。

今回は、親子やお友達とペアになって、手遊びしながら楽しみましょう!

 **対象：全員**

 **サンプルリンク***: [Epoi Tai Tai E](#)

*イメージのみです。コンサート用はMusic Bird オリジナルアレンジになります。

目的

- ニュージーランド・ポリネシアの文化的紹介
 - ペアで手遊びを行う
 - シンコペーション (ティターティのリズム)
-

5. 歌 (アクションソング) 「If You are Happy and You know It」


アクションソングの定番「幸せなら手をたたこう」を英語で。

オリジナルはカーペンターズの「Sing!」やセサミストリーの作曲家で知られる、Joe Raposo。今回はJon Batiste のジャジーにアレンジされたバージョンをMusic Bird 用にアップデートしました。

講師陣の伴奏にのせ、子どもたちが歌でアクションを誘い、オーディエンスがそれに応えます。体のパーツや動作の英語が自然に身につきます。

曲を裏拍にすることで、更にノリがよくなる感覚も楽しみましょう。

→さらなる詳細は[ここからダウンロード](#)。

 **対象：全員**

 **サンプルリンク***： [If You're Happy and You Know it](#)

*イメージのみです。コンサート用はMusic Bird オリジナルアレンジになります。

音楽を深めるポイント

- アクションに関わる言葉に合わせ身体を動かす
- ボディパーカッション

5. 「Isn't She Lovely」 By スティービー・ワンダー

エスティーヴィー・ワンダー (Stevie Wonder) は、R&Bやソウルをはじめ、ポップ、ファンク、ジャズなど幅広いジャンルで活躍するアメリカを代表するアーティストです。


生まれたばかりの娘への愛おしさ、そして娘を産んでくれた女性への感謝を表現した曲。

タイトルの *Isn't She Lovely* は一見否定疑問文のようですが、実は「可愛すぎる！」という意味で訳せる、会話でよく使われるシンプルな表現です。感動したとき、悲しいとき、驚いたときなど、心が大きく揺さぶられた瞬間に自然と使われる言葉で、相手に答えを求めるというよりも、自分の感情を強調するための表現として用いられます。

"*Lovely, wonderful, precious, the angel's best*" と、口にするとパッと空気が明るくなる日常的に使いたいスイートな言葉が、最初から最後まで並んでいます。

→さらなる詳細は[ここからダウンロード](#)。

 対象 : Harmony Time with Friends 受講の方

 サンプルリンク* : [Isn't She Lovely](#)
